

令和8年産 麦作情報(Vol.1)

令和8年1月8日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>



今後のポイント:排水対策、麦踏み

1 気象経過(10月以降)

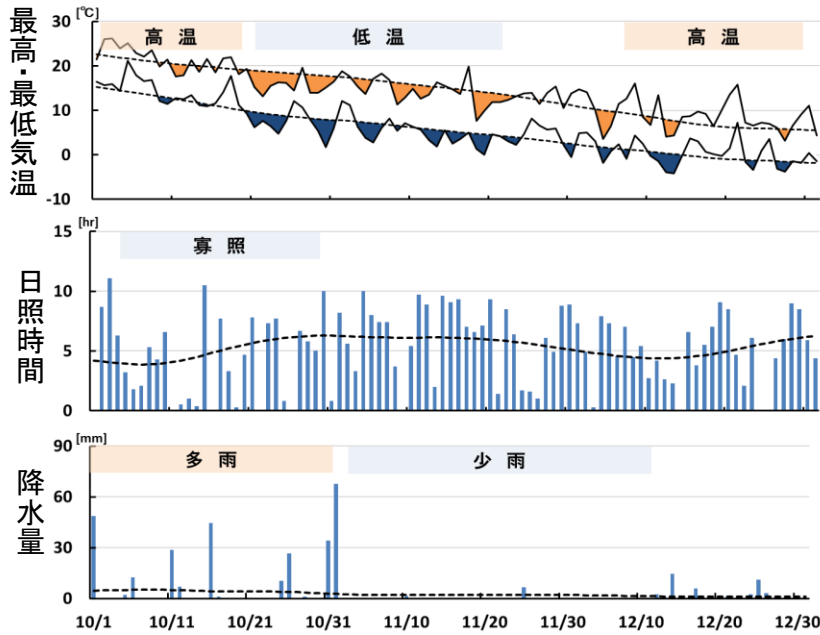


図1 気象経過(アメダス石巻)
※上:最高・最低気温、中:日照時間、下:降水量
点線は平年値(過去5か年平均)

◆ 東北地方 1か月予報(1/10~2/9)

【気温】	20	20	40
【降水量】	30	30	40
【日照時間】	40	30	30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

1 週目	20	30	50
2 週目	20	40	40
3 ~ 4 週目	30	30	40

■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

図2 季節予報(1/8仙台管区気象台発表)
※ 上図:1か月の気温、降水量、日照時間予報、
下図:週ごとの気温予報

◆気象経過

- ・平均気温…10月上旬は平年より高く、中旬から11月はかなり低温になりました。
- ・日照時間…10月は寡照、11月から12月までは平年並みに経過しました。
- ・降水量…10月は平年より多く、11月及び12月上旬は少雨になりました。

2 生育調査ほの生育状況(12月15日現在)

- ◆播種日は、10月の断続的な降雨の影響から、全ての品種で遅くなりました。
- ◆草丈は、播種が遅れたことから、平年より短くなりました。
- ◆茎数は、播種が遅れたことと、播種直後のまとまった降雨の影響により、平年より少なくなりました。
- ◆幼穂は、すべてのほ場で確認されませんでした。

表1 生育調査ほ12月15日調査結果

品種	調査ほ (旧市町)	条間 (cm)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)			葉色(GM)
			本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年
シュンライ	給人町 (桃生)	30.0	11/18	+25日	+37日	5.1	42%	30%	102	28%	16%	0.0	-0.3	-1.1	
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	30.0	10/25	+5日	+7日	5.5	35%	39%	253	59%	58%	0.0	-0.6	-0.6	
ホワイト ファイバー	真野 (石巻)	30.0	10/30	-	-	7.1	-	-	170	-	-	0.0	-	-	43.5
	大曲 (矢本)	16.1	11/11	-	-	7.8	-	-	198	-	-	0.0	-	-	44.4
シラネコムギ	太田 (桃生)	30.0	10/31	-1日	+4日	9.4	58%	68%	140	54%	38%	0.0	-0.1	-0.1	

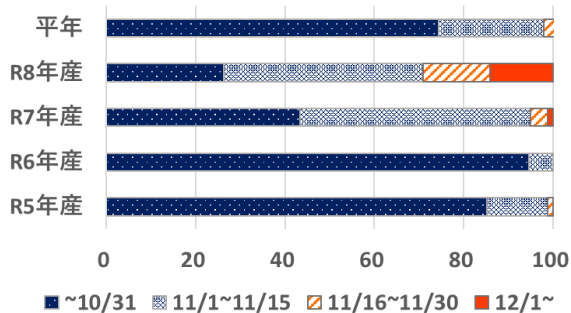
※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す

※ 幼穂長は9茎の平均

3 石巻管内の麦類播種状況

◆播種期

10月の断続的な降雨により、平年より大幅に播種が遅れ、10月中に播種作業を終えたほ場は全体の26.3%となりました。



4 今後の管理

令和8年産は生育がかなり遅れています。

株直し追肥や分けつ促進のための麦踏みにより、生育量を確保しましょう！

(1) 排水対策

◆ 明きょ・暗きょの排水状況を確認し、手直しをしましょう

出芽～生育初期の麦類は湿害に弱いので、融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。出芽後期から分けつ期にかけて湿害を受けると、根の伸長抑制による浅根や分けつの減少、葉の黄化が起こり、生育不良になります。

暗きょが閉じているほ場がないか、再点検しましょう。また、明きょに停滞水が溜まっている場合は手直しを行いましょう。



図4 停滞水が溜まる明渠
(落水口前に土が盛り上がっている)

(2) 麦踏み

◆ 令和5～6年産のシュンライは暖冬の影響により2月上旬に幼形期(幼穂長2～3mm)を迎え、茎立ちが早くなりました。令和8年産は平年より生育が遅れていますが、暖冬傾向のため、注意して生長を観察してください。

麦踏みの効果

- 【株の踏圧】→ 分けつ発生促進、深根化・倒伏軽減、生育の均一化
- 【土壌の踏圧】→ 凍上害(霜や凍結による麦の持ち上がり)や干害の防止

○麦踏みの時期と回数の目安



3～4葉期に1回 + 越冬後茎立ちまで(大麦:3月上旬頃、小麦:3月下旬頃)に1～2回。

晩限は茎立ち前(幼穂長2mm程度)まで。晩限以降の麦踏みは麦の生育に有害なため注意！

*** 暖冬年は生育が早まるため、時期を逃さないよう注意！**

○麦踏みの注意点

「**生育が遅れている(3葉期末満)**」「**生育不良**」「**ほ場が湿っている**」際には、無理に麦踏みを実施すると生育抑制効果や土壌の締固めのために**生育に悪影響を及ぼす場合**があります。

麦の生育とほ場の状態を見ながら実施しましょう。

(3) 雑草対策 ～雑草は追肥の効果を小さくし、病虫害の発生を助長します～

雑草多発ほ場では雑草繁茂による競合を避けるため、除草剤散布を検討しましょう。

(4) 株直し追肥 … 生育量不足、葉の黄化、鳥害からの回復

◆ **出芽率が悪く、生育量が小さい場合(m²当たりの茎数が400本以下)や、葉の黄化が著しい場合**等に、N(窒素)成分で1～2kg/10a程度施用します。

※茎数が多く、葉色の低下も見られないほ場では不要です。